



市長

柏木 征夫



新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様方には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、市政各般にわたり、格別のご理解・ご支援を賜りましたことに深く感謝申し上げます。

全国的な問題である少子高齢化、人口減少の波は当市にも押し寄せており、持続可能なまちづくりへの対策が急務となるなか、地方創生を成し遂げるため「御坊市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる「安定した雇用を創出する」「新しいひとの流れをつくる」「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「時代に合った地域をつくる」これら4つの基本目標に向け各種の事業に取り組んできた結果、昨年は認知症事業への取り組みが大きく評価されるとも

に、オリジナル健康体操「ステキ体操GO!GO!GOBO」が完成しました。

加えて、「100万人が1回来る御坊ではなく、1万人が100回来る御坊」をテーマに、本市の地域資源「花」「寺内町」「宮子姫」「紀州鉄道」等を活用した「GO! GOBOプロジェクト」を推進し本市の魅力を全国に発信しているところです。

2019年は第32回全国健康福祉祭（ねりんピック2019）が和歌山県で開催されます。当市では健康麻雀大会を実施し、全国から大勢の方々をお迎えしますの

で「おもてなし」の精神で大会を盛り上げたいと思います。そして、今後発生が予想される巨大地震等の大規模自然災害に対し、地域の防災拠点となる新庁舎建設、並びに総合戦略に基づいた各種施策の実現に向けて取り組んでまいりますので、引き続き市民の皆様方の温かいご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年は平成の時代が幕を閉じ、新たな元号で新時代の幕開けとなる歴史的な年となります。新しい年が皆様方にとって、光り輝く一年となりますようお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

市議会議員

山田 勝人



あけましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、つつがなく新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

平素は市議会の運営並びに活動に對しまして、温かいご支援と格別なるご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成の元号で迎える新しい年も、今回が最後となります。本年の五月一日から新しい元号がスタートするわけでございますが、期待と希望を抱きつつ、一層身の引き締まる思いを強くするものでございます。

平成の時代を振り返れば、息つく間もなく駆け巡った感じがいたします。バブル経済の崩壊や金融危機などによる大不況、少子化、超高齢化への波が押し寄せ、本格的な人口減少時代へ突入するなど、

地方を取り巻く環境も厳しさが増すばかりでございます。

また、阪神淡路大震災、東日本大震災を初め、様々な大規模な災害が各地で発生しており、防災・減災に対する意識もおのずと高まってまいりました。ご家庭での日ごろからの備え、対策が大切であることは言うまでもありませんが、地域防災力を強化し、災害に強いまちづくりをスピーディーかつ適切に推し進めていくことが肝要であると考えます。

これからのまちづくりは旧来の進め方だけにとらわれることなく、常に斬新なアプローチを取り入れつつ、時代の流れとともに変化する多種多様な住民要望にこたえていかなければなりません。我々議会も新しい時代感覚で物事をとらえ、地域ポテンシャルを生かし、自律性を高め、独自性ある行政運営がなされるよう議論を重ね、責任ある意思決定を行っていく所存でございますので引き続きのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

新しい元号がスタートする本年が、平和で希望に満ちた幸多き一年となりますよう祈念して、年頭のご挨拶といたします。